

B-LOOP

よくある質問集

CADECT

2025 年 12 月

株式会社イズミコンサルティング

目次

はじめに	4
CADECT	5
Q1. CADECT のダウンロード方法を教えてください	5
Q2. ランチャーメニューに CADECT が表示されません	6
Q3. 構造体登録画面の背景が灰色となっていて登録できません	7
Q4. カテゴリメニュー「建具」をひらいても建具がありません	8
Q5. 構造体がうまく触れません	9
Q6. エリアを作図後、下図が見えなくなっていました	10
Q7. 「ガラス率」について教えてください	11
Q8. 各ソフトの「起動」ボタンが無効となっていて押せません	12
Q9. 入力したい構造体材料が CADECT にありません	13
Q10. 吹抜けの作図方法を教えてください	15
Q11. 屋根の作図方法を教えてください	16
Q12. 円弧の作図方法を教えてください	17
Q13. 直線上にある不要な点を自動削除できますか？	18
Q14. はみだした頂点やエリア間の小さい隙間を自動修正できますか？	19
Q15. 鋭角エリア、歪み壁、不揃い点、交差エリアのチェックはできますか？	20
Q16. CADECT から各ソフトへ構造体はどのように連携していますか？	21
Q17. エラーがあり保存ができません	22
Q18. 【エラーメッセージ】 壁の点（分割ポイント）が複数重なっている	23
Q19. 【エラーメッセージ】 隣接する室の境界となる壁に、異なる構造体記号が割り当てられている	24
Q20. 【エラーメッセージ】 隣接する室の片方の壁には点（分割ポイント）があるが、もう片方の壁にはない	25
Q21. 階の入れ替え／中間階の削除の方法を教えてください	27
Q22. Rebro 連携の手順を教えてください	28
Q23. ガラス率には建具面積からサッシ面積を除いたガラス面積の割合を入力しますか？	29
Q24. 各ソフト連携時、CADECT で作成した覚えのない構造体が存在します	31
Q25. 系統はどこで作成したらよいですか？	34

Q26. 室/部材データがインポートできません	36
Q27. 「屋外空間」の用途や、各アプリへ連携された際に通常の室とどのような違いがあるのか教えてください	37
Q28. 「分割数が制限値を超えました（上限数：200）」のエラーを解消する方法を教えてください。	40
Q29. 上の階を作図しているのにも関わらず、下の階で「分割数が制限値を超えました（上限数：200）」とエラーが表示されるのはなぜですか。	41
Q30. CADECT の分割処理とはなんですか。	43
Q31. SeACD で登録した機器を A-repo 建築へ連携するにはどうすればいいですか	44

はじめに

本紙では、B-LOOP の使い始めにサポート窓口へお問い合わせいただく、よくあるご質問をご紹介します。
その他、アプリ間連携や操作については、以下マニュアルをご参照いただけますと幸いです。

【B-LOOP トータルサポートサイト】

<https://manual.isp-b-loop.com/>



本誌およびその他マニュアルをご確認いただいても問題が解決されない場合は、お手数ですがサポート窓口までお問い合わせください。

【サポート窓口 受付時間】

9 : 30～11 : 55、13 : 00～17 : 00（土・日・祝日、および弊社休業日を除く）

■ B-LOOP サポートメール窓口

B-LOOP-support@izmc.co.jp

■ イズミサポート電話窓口

027-384-2356

CADECT

Q1. CADECT のダウンロード方法を教えてください

A1. CADECT は Web ブラウザ上で使用するソフトであるため、インストールなどの環境整備は不要です。（※推奨ブラウザ：Google Chrome）

CADECT の起動方法については物件とプランを作成後、以下の操作をお試しください。

■ CADECT の起動方法

1. B-LOOP ポータルアプリを起動
2. 「データ管理」-「物件一覧」-「プラン一覧」から該当プランの「AP」を押下
（該当プランにカーソルを合わせると、左列に「AP」ボタンが出現します）

プラン一覧 プラン件数 2件

新規 編集 複製 他物件へ複製 削除 復活 更新				
	No ▼	プラン名 ▼	作成日 ▼	
	2	プランB	2023/12/07 13:34:13	
AP	1	プランA	2023/12/07 13:33:34	

3. 立ち上がった「ソフトウェア ランチャーメニュー」の「CADECT」左横にある「起動」を押下

ソフトウェア ランチャーメニュー

サンプル物件A | 1 プランA

ソフトウェア起動		設定	作業中(ロック)
Revit	UP	DL	
Rebro	DL		
起動	CADECT		
起動	STABRO 負荷計算 R3	設定	
起動	SeACD		
起動	SeACD 2		
起動	A-repo4 建築	設定	

Tips!

CADECT の起動には物件とプランの作成が必要です。作成については【[B-LOOP ポータル ユーザーズマニュアル](#)】物件作成：p.29～31、プラン作成：p.38～40 を参照してください。

Q2.ランチャーメニューに CADECT が表示されません



A2. ご利用中のアカウントへ CADECT の操作権限が付与されていないようです。権限の付与については管理者権限をお持ちの方にご対応いただいております。恐れ入りますが、管理者権限をお持ちの方へご確認をお願いいたします。「企業ユーザー管理機能」オプションを購入されていない場合は、弊社サポート窓口までご依頼ください。

Tips!

管理者権限をお持ちの方は「企業管理 Web サイト」よりログインいただき、[企業詳細] - [企業ユーザー管理] - [ユーザー情報編集]から操作権限をご確認ください。

企業管理 Web サイト : <https://company-admin.isp-b-loop.com/#/company/login>

Q3. 構造体登録画面の背景が灰色となっていて登録できません

属性設定

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定 ☐ 直接入力

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗 [m²·K/W]	材料図	マスター

※ドラッグ&ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

仕上がりイメージ

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m² · K/W]	0.04
表面熱伝達抵抗2 [m² · K/W]	0.11
熱抵抗合計 [(m²·K)/W]	0.15
熱貫流率 [W/(m²·K)]	6.667

A3. 構造体登録はサブ・ヘッダーメニュー「空調モデル」または「省エネモデル」を選択されている場合に、追加・編集が可能となります。こちらをご選択されているか一度ご確認ください。



Tips!

選択するモデルによって設定可能項目が異なります。詳細は【[CADECT 操作マニュアル](#)】を参照してください。
なお、各モデルの概要は以下の通りです。

建物モデル : 作成した建物の情報を確認できます。

空調モデル : 空調負荷区分が確認できます。エリアごとに未設定、非空調、冷暖房、冷房のみ、暖房のみを色で分けて確認できます。

省エネモデル : エリアごとに評価対象室、評価対象外、室用途未設定が確認できます。

Q4.カテゴリメニュー「建具」をひらいても建具がありません



A4. カテゴリメニュー「建具」では、「室/部材」で作成した建具アイテムを壁に配置することができます。

そのため配置できる建具がない場合は、まずカテゴリメニュー「室/部材」 - 「建具」から建具をご登録ください。こちらで登録した建具がカテゴリメニュー「建具」に表示され、作図の壁上に配置することができるようになります。



Tips!

CADECT で壁の構造体記号を設定していない場合、各ソフトへ壁が連携されません。それにより壁に配置した建具も連携されませんのでご注意ください。

Q5.構造体がうまく触れません

A5. サブ・ヘッダーメニュー「選択種類（すべて、エリア、建具、壁、汎用）」から触りたいアイテムを選択することで、選択したアイテムのみが選択対象となり、特定のアイテムが触り易くなります。選択種類に応じた選択範囲は以下の通りです。



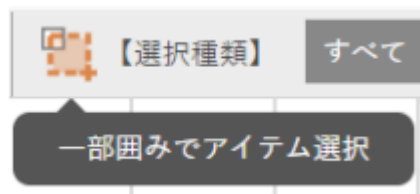
【選択種類】

- すべて…選択制限がなく、エリア、建具、壁、屋根、全て選択できます。
エリアを囲むように選択した場合はエリア選択が優先となり、壁は選択されません。
- エリア…エリアのみ選択可能となります。
- 建具…建具のみ選択可能となります。
- 壁…壁のみ選択可能となります。
- 汎用…汎用作図のみ選択可能となります。

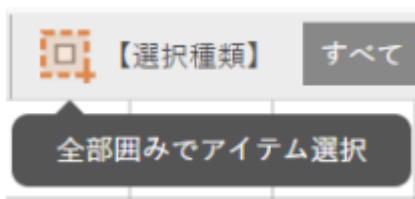
Tips!

選択方法の設定をあわせて活用すると、選択したいアイテムをより効率的に選択することができます。

一部囲み…アイテムの一部を囲むとアイテムが選択できます。



全部囲み…アイテムのすべてを囲むとアイテムが選択できます。

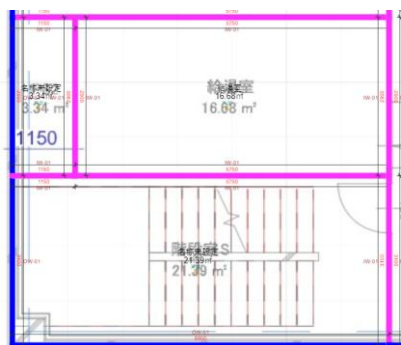


Q6.エリアを作図後、下図が見えなくなっていました

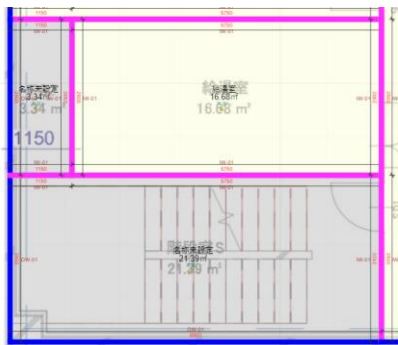
A6. サブ・ヘッダーメニュー「部屋」をクリックすると、作図した部屋領域の表示を透明、半透明、不透明の 3 段階で設定することができます。透明、半透明、に設定することで下図が見えやすくなりますのでお試しください。



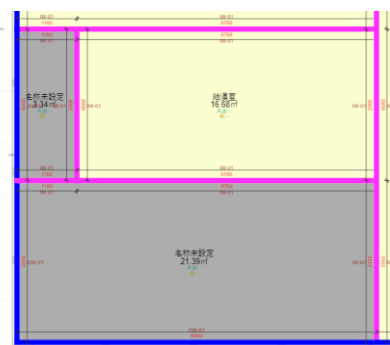
【透明】



【半透明】



【不透明】



Tips!

サブ・ヘッダーメニュー「下図」では、下図の表示／非表示が可能です。

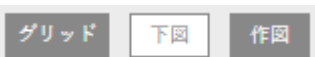


「部屋」の表示を変更しても下図が表示されない場合は、「下図」が非表示の設定となっていないかご確認ください。

ボタンの色 : グレー → 表示



ボタンの色 : 白 → 非表示



Q7.「ガラス率」について教えてください

A7. ガラス率とは、建具の面積に対するガラスの割合を設定できる B-LOOP 固有の機能です。

ガラス率を設定することで、ガラス記号で選択したガラス性能の適用割合（面積）が設定されるため、建具面積とガラス率に応じた「ガラス面積」が自動算出されます。カーテンウォールをご入力される場合や、ルーバーを表現する場合などにご活用いただけます。

ガラス率は直接入力または「ガラス寸法(W)/(H)」を入力することで自動算出が可能です。

建具情報

×

建具情報を設定して追加します。

建具種別	窓
名称	AW02
幅	1200 mm
高さ	1400 mm
面積	1.68 m ² <input type="checkbox"/> 直接入力
設置高	1100 mm
建具種類	
ガラス率(%)	100 %
ガラス寸法 (W)	mm
ガラス寸法 (H)	mm
ガラス面積	1.68 m ²
ガラス記号	<div></div> 選択... クリア

ガラスの諸元

	ブラインドなし	ブラインドあり
遮蔽係数 SC		
日射熱取得率		
熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]		

熱貫流率(ガラス以外) 0 [W/(m²・K)]

OK

キャンセル

例えば、カーテンウォールでガラス率を 100%とすると、全面ガラスのカーテンウォールという意味合いになります。

Tips!

CADECT で外ルーバーを入力する際は、室・部材の建具でルーバーを設定し、ガラス率と熱貫流率（ガラス以外）を入力します。

なお、「ガラス率」は B-LOOP 固有の機能のため、他アプリに「ガラス率」の項目はありません。

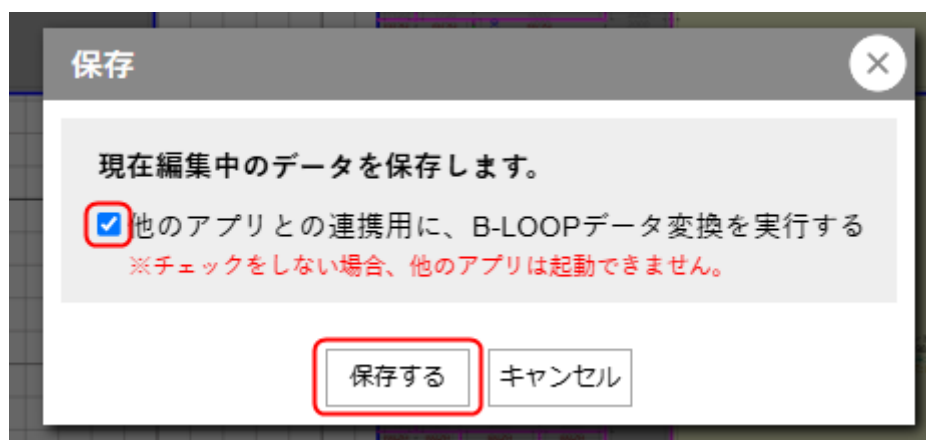
Q8.各ソフトの「起動」ボタンが無効となっていて押せません

ソフトウェア ランチャーメニュー

サンプル物件 | 1 プランA

ソフトウェア起動		設定	作業中(ロック)	作成日
Revit	UP	DL		
Rebro		DL		
起動	CADECT			
起動	STABRO 負荷計算 R3	設定		
起動	SeACD			
起動	SeACD 2			
起動	A-repo4 建築			

A8. CADECT で作図をしていない、または CADECT で作図した情報が「B-LOOP データ」として保存されていない可能性があります。まずは CADECT で作図を行い、保存実行時に「他のアプリとの連携用に、B-LOOP データ変換を実行する」へチェックをして保存後、各ソフトの起動をお試しください。



Tips!

CADECT 保存実行時に「他のアプリとの連携用に、B-LOOP データ変換を実行する」へチェックをせず保存した場合は、CADECT の作図情報の一時保存状態となるため、他のアプリは起動できません。

Q9.入力したい構造体材料が CADECT にありません

A9. CADECT に登録がない構造体材料は、材料選択画面の「直接入力」から入力します。

材料選択

建材選択参照元: ☒ 省エネ ☐ JIS ☐ 素本 (便覧)

直接入力

No	材料	熱伝導率 [W/(m・K)]	熱抵抗 [㎡・K/W]
2	銅	55	0
3	アルミニウム	210	0
4	銅	370	0
5	ステンレス鋼	15	0
6	岩石	3.1	0
7	土壌	1	0
8	コンクリート	1.6	0
9	軽量コンクリート(軽量1種)	0.8	0
10	軽量コンクリート(軽量2種)	0.5	0
11	軽量気泡コンクリートパネル (ALC パネル)	0.19	0
12	コンクリートブロック (重量)	1.1	0
13	コンクリートブロック (軽量)	0.53	0
14	セメント・モルタル	1.5	0
15	押出成型セメント板	0.4	0
16	せっこうプラスター	0.6	0

追加 閉じる

▼「直接入力」押下後の画面

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 ☐ 日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定 ☐ 直接入力

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m・K)]	熱抵抗 [㎡・K/W]	材料図	参照元
0		0	0	0	▼	直接入力

仕上がりイメージ

外 ← → 内

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [㎡・K/W]	0.04
表面熱伝達抵抗2 [㎡・K/W]	0.11
熱抵抗合計 [(㎡・K)/W]	0.15
熱貫流率 [W/(㎡・K)]	6.667

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

建材番号「0」の材料が追加されますので、「建材名」、「厚さ」、「熱伝導率」を入力し、構造体をご登録ください。
「厚さ」と「熱伝導率」を入力することで「熱抵抗」が自動算出されます。

Tips!

構造体登録画面右上にある「直接入力」にチェックを入れることで、熱貫流率を直接入力することも可能です。

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 □日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗 [m²·K/W]	材料図	参照元

仕上がりイメージ

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m²·K/W]	
表面熱伝達抵抗2 [m²·K/W]	
熱抵抗合計 [(m²·K)/W]	
熱貫流率 [W/(m²·K)]	0.7

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

建材を登録した状態で熱貫流率を直接入力している場合は、登録した建材名および直接入力した熱貫流率の値が STABRO 負荷計算および A-repo 建築へ連携されます。

【CADECT】

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 □日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗 [m²·K/W]	材料図	参照元
17	せっこうボード	60	0.22	0.273	pic02.bmp	音エネ

仕上がりイメージ

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m²·K/W]	
表面熱伝達抵抗2 [m²·K/W]	
熱抵抗合計 [(m²·K)/W]	
熱貫流率 [W/(m²·K)]	0.7

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

【STABRO 負荷計算】

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 □日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗 [m²·K/W]	材料図	参照元
1	1062 せっこうボード	60	0.22	0.273	pic02.bmp	音エネ

仕上がりイメージ

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m²·K/W]	
表面熱伝達抵抗2 [m²·K/W]	
熱抵抗合計 [(m²·K)/W]	
熱貫流率 [W/(m²·K)]	0.7

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

【A-repo 建築】

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 □日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗 [m²·K/W]	材料図	参照元
1	1062 せっこうボード	60	0.22	0.273	pic02.bmp	音エネ

仕上がりイメージ

熱貫流率:

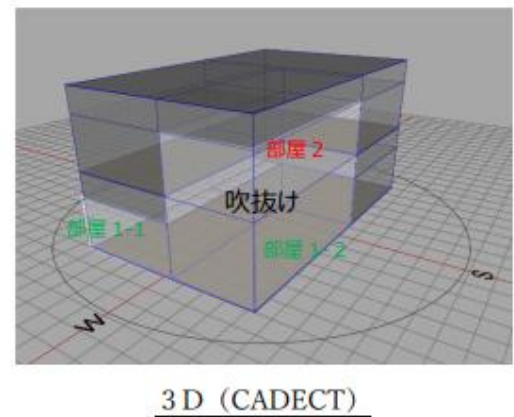
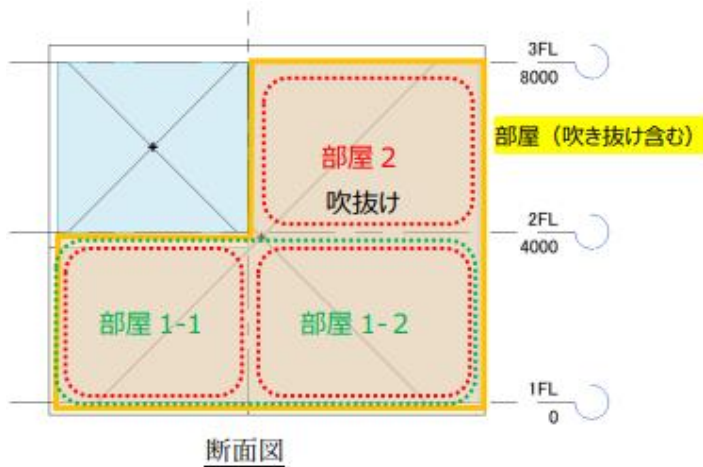
項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m²·K/W]	
表面熱伝達抵抗2 [m²·K/W]	
熱抵抗合計 [(m²·K)/W]	
熱貫流率 [W/(m²·K)]	0.7

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

Q10. 吹抜けの作図方法を教えてください

A10. 以下のような吹抜けの作図方法をご紹介します。



例) 1・2 階が吹抜けの場合

1. 1 階と 2 階にそれぞれ、同じエリア（領域）を入力
2. 1 階の『部屋 1-2』エリアに『吹抜け（面積算入）』を設定
3. 2 階のエリアには『吹抜け（面積不算入）』を設定し、紐づく階に『1 階』、エリアを『部屋 1-2』を設定

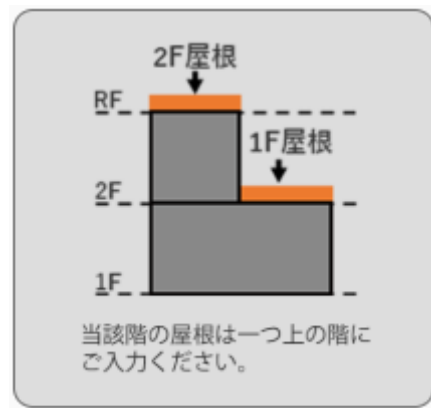
Revit 取り込み後の吹抜け設定については、【[B-LOOP for Revit モデリングガイド](#)】の「吹抜け」の章を参照してください。

Tips!

例えば「部屋 1-2」が間仕切りでエリアが分割されている場合でも、「部屋 2」に間仕切りを追加する（部屋の形状を合わせる）必要はなく、上階のエリアを「吹抜け（面積不算入）」、下階のエリアを「吹抜け（面積算入）」に設定することでご対応いただけます。

Q11. 屋根の作図方法を教えてください

A11. 屋根を作成する際は、屋根を作成したいエリアの一つ上の階に移動します。上の階がない場合は「階の追加」を行い、屋根用の階を作成します。



例) 2 階の屋根を作成する場合（屋根用の階がない場合）

1. フッターメニュー「+」ボタンから屋根用の階を追加



2. 追加したシートを開き、カテゴリメニュー「屋根」を選択
3. 屋根の入力方法（屋根入力、エリアから自動生成、自動生成）を選択



4. 選択した入力方法に沿い、屋根を作図

詳細については【[CADECT 操作マニュアル](#)】p.91～96 を参照してください。

Tips!

屋根の各入力方法の概要は以下の通りです。

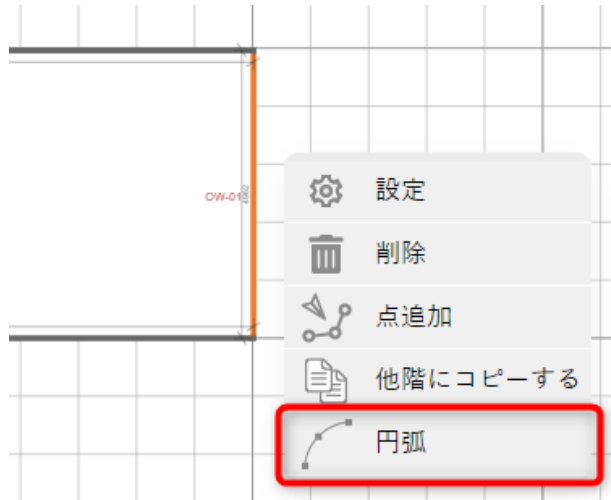
屋根入力 : ユーザー様にて屋根の囲みの頂点を入力します。

エリアから自動生成 : 選択範囲の下階に部屋がある場合に、その部屋をくり抜いて自動作成します。

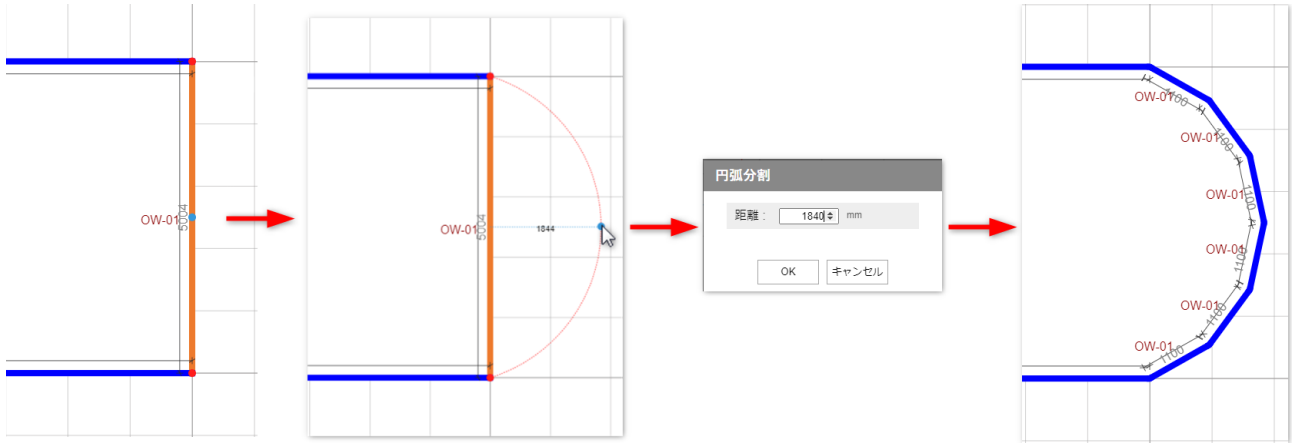
自動生成 : 建物全体において屋根ができるはずの領域に自動生成します。

Q12. 円弧の作図方法を教えてください

A12. 円弧を作成したい壁を選択し、オレンジ色になった状態で右クリック→「円弧」ボタンを押下します。



壁中央に青色の頂点が表示されるため、頂点を円弧の描きたい方向へマウスで引っ張ります。マウスを離すと「円弧分割」ダイアログが表示されるので、壁からの距離を入力し「OK」を押下すると、一辺の長さが等しい円弧が作成されます。



作成される円弧は複数の直線の集まりで表現され、一辺の長さが 1000mm 以上の均等な値に設定されます。
なお、辺の数や直線の長さの指定はできません。

Q13. 直線上にある不要な点を自動削除できますか？

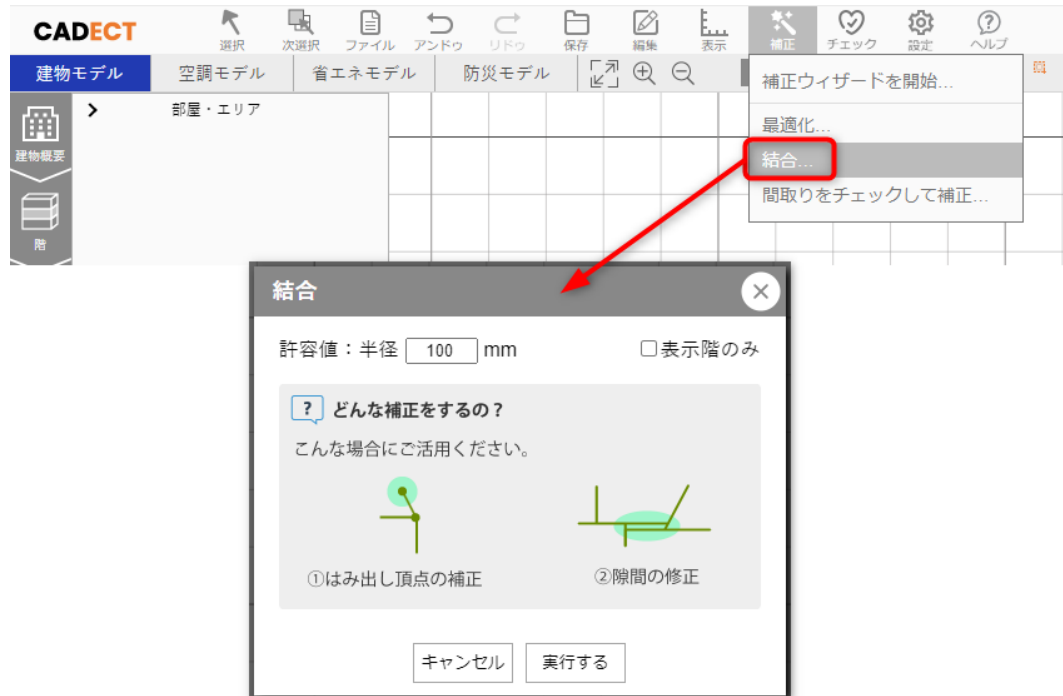
A13. 直線上に不要な点がある場合、ヘッダーメニュー「補正」→「最適化」で自動削除することが可能です。



詳細については【[CADECT 操作マニュアル](#)】p.131 を参照してください。

Q14. はみだした頂点やエリア間の小さい隙間を自動修正できますか？

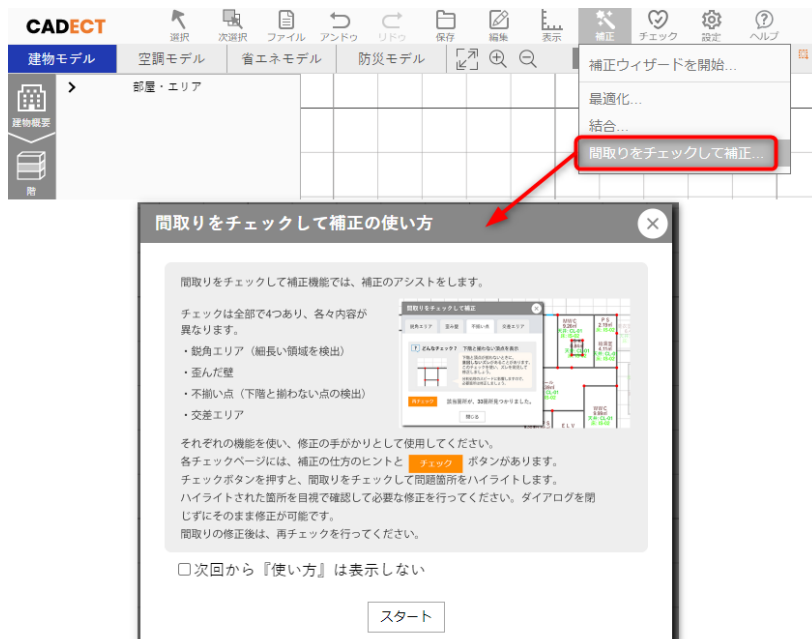
A14. はみだした頂点やエリア間の小さい隙間がある場合、ヘッダーメニュー「補正」→「頂点の結合」で自動修正することが可能です。



詳細については【[CADECT 操作マニュアル](#)】p.132 を参照してください。

Q15. 鋭角エリア、歪み壁、不揃い点、交差エリアのチェックはできますか？

A15. 鋭角エリア、歪み壁、不揃い点、交差エリアのチェックを行いたい場合、ヘッダーメニュー「補正」→「間取りをチェックして補正」で問題箇所をハイライト表示することが可能です。



【鋭角エリア】



【歪み壁】



【不揃い点】



【交差エリア】



詳細については【[CADECT 操作マニュアル](#)】p.133～135 を参照してください

Q16. CADECT から各ソフトへ構造体はどのように連携していますか？

A16. CADECT から各ソフトへどのようにデータが連携されているのか、連携されていない項目は何か等をご確認いただける「データ変換対応表」をソフト毎にご用意しています。

詳細については以下の各データ変換対応表を参照してください。

STABRO 負荷計算

【[CADECT⇔STABRO データ変換対応表](#)】

SeACD2

【[CADECT⇔SeACD2 データ変換対応表](#)】

A-repo4 建築

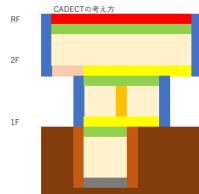
【[CADECT⇔A-repo4 建築 データ変換対応表](#)】

Tips!

【CADECT⇔各ソフト（STABRO 負荷計算／SeACD2／ A-repo4 建築）】のデータ変換対応表の巻末では「構造体種別について」を記載しており、CADECT と各ソフトでの構造体の考え方の違いについてもご確認いただけます。

構造体種別について

CADECTの構造体種別と、STABROの構造体種別は考え方が違います。
CADECTの構造体種別はユーザーが自由に変更できるものとなります。
STABROの構造体種別は、建物の形や部材の位置によって変化するもので、必ずしもCADECTで設定した種別とは一致しません。
そのため、同じ構造体図号から異なる種別が発生することもあります。

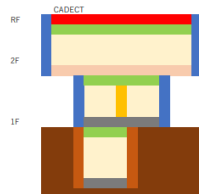


CADECT	STABRO
壁	外壁 内壁
床	床 床板 床下床
天井	天井 天井板
柱	柱 柱頭 柱脚
基礎	基礎 基礎板



壁はそのまま変換します。
床は外床、土間床はそのまま変換します。
内床のみ、天井・床、ビロティ床に分かれます。
①分かれる条件は、隣接室があるかどうかです。
②隣接室が無い場合、地面に面している内床はビロティに変換されます。
天井はそのまま変換しますが、
③床と接している場合、天井・床として結合します。
④屋根と接している場合は屋根側に変換します。
屋根はそのまま屋根として変換します。

構造体の結合条件
内床が土間床または外床の場合



⑤ 外床の場合は天井と結合しない
⑥ 土間床の場合は天井と結合しない

Q17. エラーがあり保存ができません

A17. CADECT 保存時に「エラーが見つかりました。」と表示されている場合でも、以下ダイアログの「保存する」を押下いただくことでデータの保存が可能です。なお、ダイアログにも記載の通りエラーがある場合はアプリ連携後に支障が出る可能性がございますので、ご留意願います。



Tips!

基本的にはエラーの解消を推奨しますが、エラーは注意喚起であるため計者様のご判断で問題ないと判断された場合はエラーを無視して作業を行ってください。

Q18.【エラーメッセージ】 壁の点（分割ポイント）が複数重なっている

【問題箇所】

1) 階：1FL

GUID：

エラー内容：壁の点（分割ポイント）が複数重なっている

[問題個所の表示](#) [解説資料の表示](#)

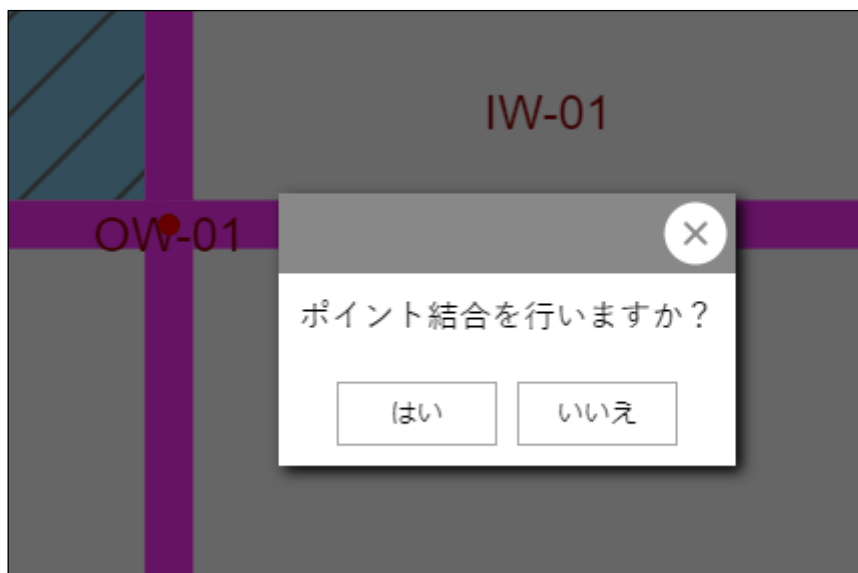
2) 階：1FL

GUID：

エラー内容：壁の点（分割ポイント）が複数重なっている

[問題個所の表示](#) [解説資料の表示](#)

A18. 各壁体の頂点が複数重なっているために表示されるエラーです。壁分割が起きている箇所にポイントを合わせると「ポイント結合を行いますか？」と出てきますので、「はい」を押下ください。



Q19.【エラーメッセージ】 隣接する室の境界となる壁に、異なる構造体記号が割り当てられている

【問題箇所】

1) 階：1FL

GUID：

エラー内容：隣接する室の境界となる壁に、異なる構造体記号が割り当てられている

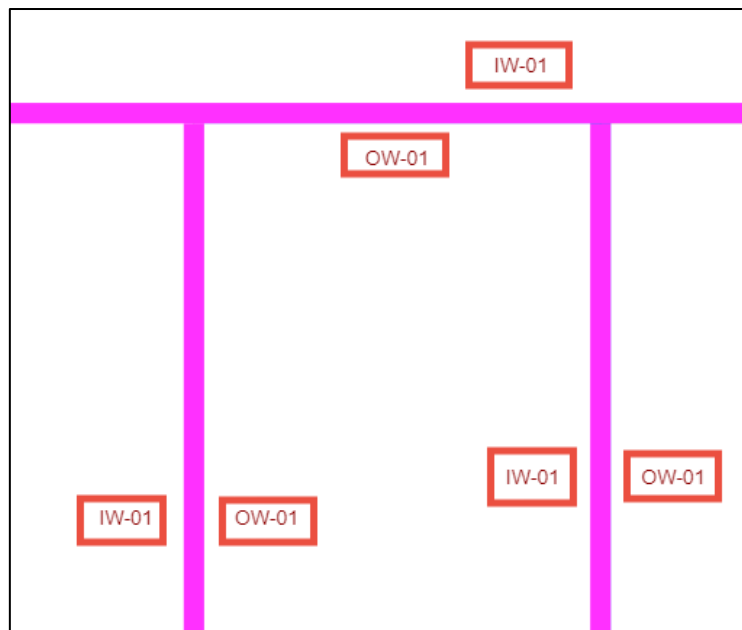
[問題箇所の表示](#) [解説資料の表示](#)

2) 階：1FL

GUID：

エラー内容：隣接する室の境界となる壁に、異なる構造体記号が

A19.例えば IW と OW が隣り合わせで設定されている際に表示されるメッセージです。該当の壁体を選択し、右クリック→設定→壁の設定で表示される「構造体記号」をご確認ください。



Q20.【エラーメッセージ】 隣接する室の片方の壁には点（分割ポイント）があるが、もう片方の壁にはない

【問題箇所】

1) 階：1FL

GUID：

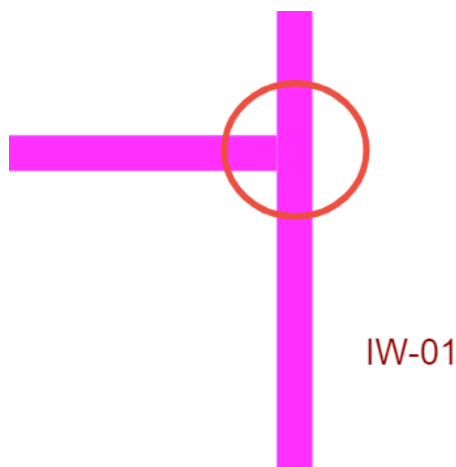
エラー内容：隣接する室の片方の壁には点（分割ポイント）があるが、もう片方の壁にはない

[問題個所の表示](#) [解説資料の表示](#)

A20. 壁体と壁体が交わる場所に点（分割ポイント）が存在しないため表示されるエラーです。頂点を追加することで解消されます。該当の頂点が不要であれば削除しても解消できます。
以下の操作をお試ください。

①

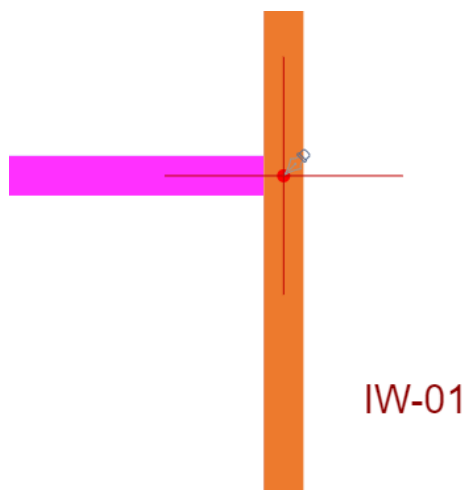
点（分割ポイント）が存在していない



壁を選択→右クリック→「点追加」を押下

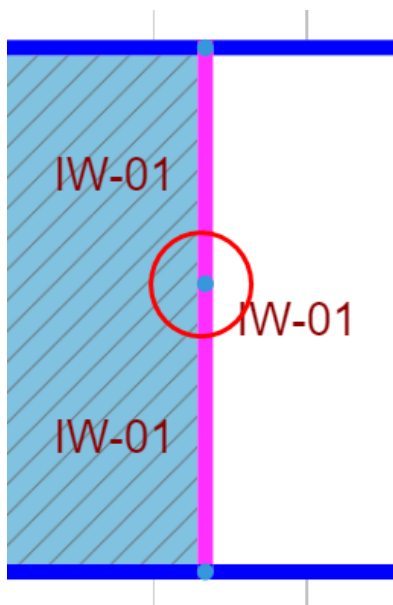


壁体と壁体の交わる場所に点を追加することでエラーが解消されます。

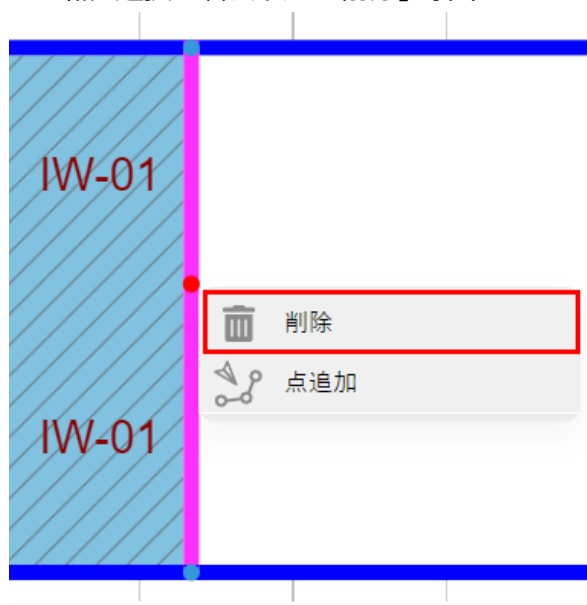


②

不要な点（分割ポイント）が存在する



不要な点（分割ポイント）が存在する部屋を選択
→点を選択→右クリック→「削除」を押下



点を削除することで 2 つの壁が 1 つになるため
どちらの壁の仕様を採用するか選択する

不要な点を削除することでエラーが解消されます

確認 ×

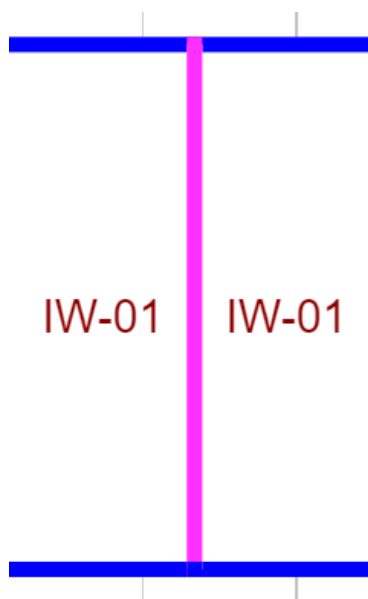
対象の壁を削除します

隣接する壁の仕様が異なりますがどちらの構造体仕様を採用しますか？

☒ IW-01（隣接壁2）

☐ IW-01（隣接壁3）

変更
キャンセル





※該当エリアに新しいエリアを追加すると自動的に再計算が行われるため、この方法でエラーを解消することも可能です。
この方法を行った場合、入力した不要なエリアは再計算後に削除してください。

Q21. 階の入れ替え／中間階の削除の方法を教えてください

A21. カテゴリメニュー「階」から設定が可能です。

【階の入れ替え】

移動したい階を選択し、上下の矢印ボタン（ ）にて入れ替えます。




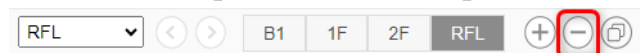
【中間階の削除】

削除したい階を選択し、「 削除」ボタンを押下します。



Tips!

フッターメニュー「」から行える「階の削除」は、最上階または最下階のみ削除可能です。



Q22. Rebro 連携の手順を教えてください

A22. 令和 5 年 12 月 4 日にリリースした Rebro 連携は、同じ Revit データを取込んだ Rebro と B-LOOP において、SeACD2 で選定した換気／空調機器データを Rebro 上に配置することができる機能です。SeACD2 の機器選定情報を Rebro へ連携する機能のため、SeACD2 をお持ちでない方はご利用いただけません。連携手順は以下の通りです。

■ Rebro 連携手順

1. SeACD2 で換気／空調機器を選定し保存
2. ソフトウェアランチャーメニューの Rebro 横の「DL」ボタンを押下



3. 保存先を指定しファイルを保存
-Rebro 連携用ファイル拡張子 : RebroLinkFromBLoop
4. 同じ Revit モデルを取り込んだ Rebro にて、リボンメニュー「アドイン」 - B-LOOP 連携「機器配置」を押下
5. 「開始する」を押下
6. 3 で保存したファイルを開く

※Rebro 連携の詳細は【[Rebro×B-LOOP 連携マニュアル](#)】を参照してください。

※SeACD2 での機器選定方法は【[SeACD2 操作マニュアル](#)】を参照してください。

Tips!

SeACD2 で選定した機器情報は連携できますが、SeACD で選定した機器情報は連携できませんのでご注意ください。

Q23. ガラス率には建具面積からサッシ面積を除いたガラス面積の割合を入力しますか？

A23. サッシ面積を考慮しガラス面積をご変更いただくことは不要です。ガラス率によって計算されるガラス面積には、サッシ面積を考慮したガラス記号が適用されています。

【STABRO 負荷計算への連携】

ガラス率が 100%未満の建具の場合、STABRO 負荷計算へ連携する際は「ガラス以外の面積」を「外壁」として自動登録します。

■ CADECT 室／部材－建具－建具情報画面

建具情報

変更したい項目を選択して設定します。

名称

AW01

幅

1000 mm

高さ

1000 mm

面積

1 m² ☐ 直接入力

設置高

1100 mm

建具種類

金属複合製

ガラス率(%)

50 %

ガラス寸法 (W)

mm

ガラス寸法 (H)

mm

ガラス面積

0.5 m²

ガラス記号

3WgG06

選択...

クリア

ガラスの諸元

ブラインドなし

ブラインドあり

遮蔽係数 SC

0.49

0.38

日射熱取得率

0.431199999999

0.334400000000

熱貫流率 U

2.27

2.09

W/(m²・K)

熱貫流率(ガラス以外)

0.2

W/(m²・K)

OK

キャンセル

■ STABRO 負荷計算

室登録－構造体 ※ガラス以外の面積が「AW01_2」の外壁として登録される。

構造体	室内条件	計算条件	系統・備考						
	方位	記号	幅 [m]	高さ (奥行き) [m]	面積 [m ²]	差し引く窓面積 [m ²]	合計 [m ²]		
1	S	AW01			0.5		0.5		
2	N	OW-01	10.12	3.50	35.4		35.4		
3	E	OW-01	5.04	3.50	17.6		17.6		
4	S	AW01_2	1.00	1.00	1.0	0.5	0.5		
5	S	OW-01	10.12	3.50	35.4	1.0	34.4		
6	W	OW-01	5.04	3.50	17.6		17.6		
7	水平	CL-01 (OR-01)	10.12	5.04	51.0		51.0		
8	日影	IS-01 / ピロティ床	10.12	5.04	51.0		51.0		

【A-repo 建築への連携】

ガラス率が 100%未満の建具の場合、A-repo 建築へ連携する際は「ガラス以外の建具面積」として自動で登録します。ガラス率が 1～99%の場合、ガラス記号「S」で建具を作成する仕様となります。

■ CADECT 室／部材－建具－建具情報画面

建具情報

変更したい項目を選択して設定します。

☒ 名称

AW01

☒ 幅

1000 mm

☒ 高さ

1000 mm

☒ 面積

1 m² ☐ 直接入力

☒ 設置高

1100 mm

☒ 建具種類

金属複合製

☒ ガラス率(%)

50 %

ガラス寸法 (W)

mm

ガラス寸法 (H)

mm

ガラス面積

0.5 m²

☒ ガラス記号

3WgG06

選択...

クリア

ガラスの諸元

ブラインドなし

ブラインドあり

遮蔽係数 SC

0.49

0.38

☒ 日射熱取得率

0.431199999999

0.334400000000

熱貫流率 U
[W/(m²・K)]

2.27

2.09

☒ 熱貫流率(ガラス以外)

0.2 [W/(m²・K)]

OK

キャンセル

■ A-repo 建築 外皮構成

外壁	屋根	外床	接地壁(壁)	接地壁(床)	開口部	日除け	
窓(ガラス+建具)の性能							
開口部名称			窓の熱貫流率 U [W/㎡・K]	窓の日射熱 取得率 η [-]	建具の種類	ガラスの 記号	ガラスの種類
1	AW01		...		金属複合製(複層ガラス)	3WgG06	三層ガラス(Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)
2	AW01 ガラス以外		...		金属複合製(複層ガラス)	S	鋼製建具等

■ A-repo 建築 外皮面積（空調室）

	空調ゾーン名	外皮なし	方位	開口部				
				開口部 名称	幅 [m]	高さ [m]	面積 [m ²]	ブライ ンド
1	1階	<input type="checkbox"/>	西	▼				<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	北	▼				<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	東	▼				<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	南	▼	AW01		0.50	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	南	▼	AW01 ガラス以外		0.50	<input type="checkbox"/>
6		<input type="checkbox"/>	日陰	▼				<input type="checkbox"/>
7		<input type="checkbox"/>	水平	▼				<input type="checkbox"/>
8		<input type="checkbox"/>	▼					<input type="checkbox"/>

Q24. 各ソフト連携時、CADECT で作成した覚えのない構造体が存在します

A24. CADECT で作成した建具の設定により、各ソフト連携時に構造体が自動生成される場合があります。
生成される対象ソフトおよび構造体名称は次の 4 通りです。

	対象ソフト	各ソフト内該当項目	自動生成名称
①	STABRO 負荷計算	窓ガラス・構造体-窓ガラス	CADECT 建具名称 + “-B”
	A-repo 建築	建築外皮-外皮構成-開口部	
②	STABRO 負荷計算	窓ガラス・構造体-外壁	CADECT 建具名称 ※建具名称が外壁記号に登録される
③	STABRO 負荷計算	窓ガラス・構造体-窓ガラス または 窓ガラス・構造体-外壁、屋根、ピロティ 床、内壁、天井・床、地中壁、土間床	CADECT 建具名称 + “_(連番)” または CADECT 構造体名称 + “_(連番)”
④	A-repo 建築	建築外皮-外皮構成-開口部	CADECT 建具名称 + “ ガラス以外”

詳細は次の通りです。

① CADECT 建具名称に“-B”がついた「窓ガラス記号」/「開口部名称」について

The image displays two software interfaces. The left interface shows a list of window codes (AW01-B to AW07-B) under the '窓ガラス記号' (Window Glass Code) section. The right interface shows a table titled 'A-repo4 建築' (A-repo4 Building) with columns for '開口部名称' (Opening Name), '窓の熱貫流率 U [W/m²・K]' (Window Thermal Transmittance U), and '窓の日射熱取得率 g [-]' (Window Solar Heat Gain Coefficient g). The table lists openings AW12, AW01, AW02, AW03, AW04, AW05-B, AW06, AW06-B, and AW07-B, with corresponding U and g values.

■ 対象ソフト：

STABRO 負荷計算、A-repo 建築

■ 生成基準：

ガラス率が 1～100%かつ「ブラインド付き」の建具は、対象ソフト連携先で末尾に“-B”がついた「窓ガラス記号」/「開口部名称」が自動生成されます。

■ 詳細：

- CADECT では配置した建具ごとに「ブラインド付き」の設定をするため、同一名称でブラインド付きとブラインド無しの建具が存在します。そのため対象ソフト連携先では異なる仕様の建具として切り分けるため、自動的に“-B”を付与しています。

② CADECT 建具名称の「外壁記号」について



	外壁記号
1	OW-01
2	OW-02
3	SD01
4	SD03
5	SD04
6	SD11
7	OW-07
8	OW-06
9	OW-08
10	AW12

■ 対象ソフト：

STABRO 負荷計算

■ 生成基準：

ガラス率が 0～99%かつ外壁に設置されている建具は、対象ソフト連携先で建具名称の「外壁記号」が自動生成されます。

■ 詳細：

- ガラス率が 1～99%かつ外壁に設置されている建具の場合、「窓ガラス記号」および「外壁記号」が生成されます。
- ガラス率が 0%かつ外壁に設置されている建具の場合、「外壁記号」のみが生成されます。
- 自動生成された建具名称の「外壁記号」における「熱通過率」は、CADECT の建具情報で設定した「熱貫流率（ガラス以外）」の値が連携されます。

③ CADECT 建具・構造体記号に"_(連番)"がついた「窓ガラス記号」／「構造体記号」について



	窓ガラス記号
1	AW01-B
2	AW02
3	AW02-B
4	AW03
5	AW04
6	AW05
7	AW06
8	AW07
9	AW08

	外壁記号
1	OW-01
2	OW-02
3	SD01
4	SD03
5	AW06_2

■ 対象ソフト：

STABRO 負荷計算

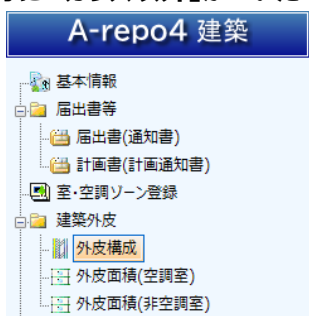
■ 生成基準：

同一名称の構造体記号が存在する場合、記号をユニーク化する機能により自動採番された構造体記号が生成されます。

■ 詳細：

- 同一名称の構造体が存在するのは、以下のような設定を行った場合です。
 - CADECT にてガラス率が 1～99%の建具を外壁に設置した場合（※②の詳細を参照）
 - CADECT にて「建具」と「外壁」などを同じ構造体名称に設定した場合

④ CADECT 建具名称に「 ガラス以外」がついた「開口部名称」について

A-repo4 建築					外壁	屋根	外床	接地壁(壁)	接地壁(床)	開口部	日除け
					開口部名称		窓の熱貫流率 U [W/m ² ・K]		窓の日射熱 取得率 η [-]		
	1	AW01	...								
	2	AW01 ガラス以外	...								
	3	AW02	...								
	4	AW02 ガラス以外	...								
	5		...								
	6		...								

■ 対象ソフト：

A-repo 建築

■ 生成基準：

ガラス率が 0～99%の建具は、対象ソフト連携先で末尾に「 ガラス以外」がついた「開口部名称」が自動生成されます。

■ 詳細：

- 建具のガラスとガラス以外を切り分けるため、自動的に「ガラス以外」を付与しています。

Q25. 系統はどこで作成したらよいですか？

A25. カテゴリメニュー「室/部材」の「空調系統」から作成できます。手順は以下の通りです。

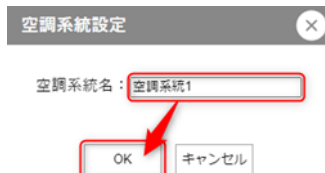
1. サブ・ヘッダーメニューにて、「空調モデル」を選択



2. 「室/部材」-「空調系統」で「空調系統設定」画面を表示し、「追加」ボタンをクリック



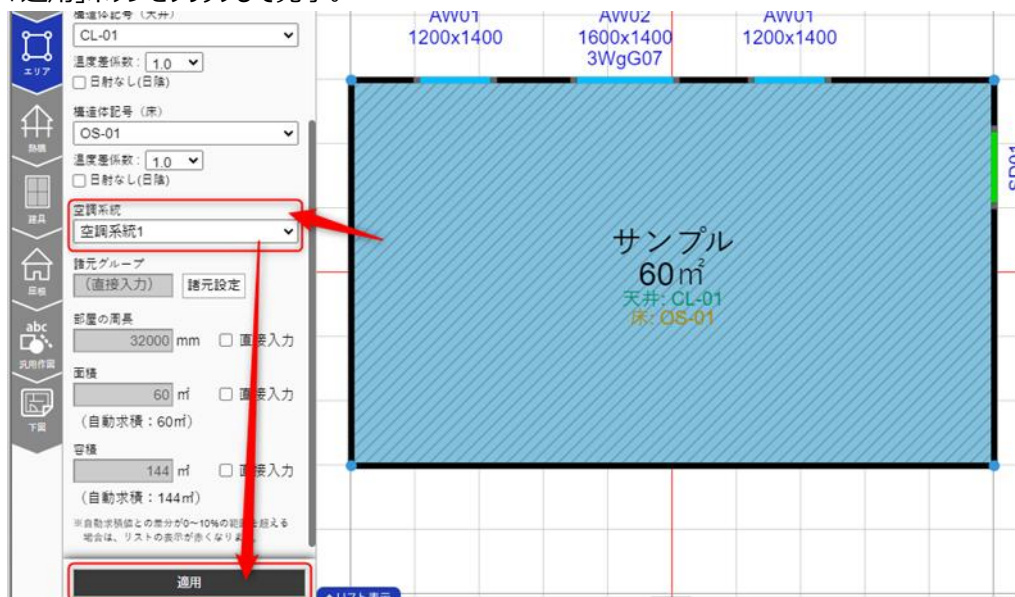
3. 「追加」を押下し、「空調系統名」を設定して「OK」をクリック



4. 空調系統名が追加されたことを確認し「OK」をクリック



5. 空調システムを設定したいエリアを選択し、設定情報の「空調システム」プルダウンリストからシステムを選択。
「適用」ボタンをクリックして完了。



※SeACD2にてシステムを作成する場合は、【[SeACD2 操作マニュアル](#)】を参照してください。

Tips!

【室とシステムの紐づけ】

室を全て作図したあとに、システムをまとめて設定される場合は、エリアを複数選択するのが便利です。以下の手順で設定できますので、ご活用ください。

1. 編集領域で、Ctrl または Shift キーを押しながら、同じシステムに設定したいエリアをすべてクリックする
2. 右クリックでメニューを開き、「設定」を開く
3. 「空調システム」にチェックを入れ、リストからシステムを選ぶ
4. [変更する]ボタンをクリックする

※STABRO 負荷計算をお持ちの方は、アプリ内の「系統登録」もご活用いただけます。系統の作成は CADECT で準備する必要がありますが、各系統に室を紐づける作業が感覚的に操作可能です。詳しい操作手順は【STABRO 負荷計算 操作マニュアル】を参照してください。

【機器の配置】

系統に機器を配置する作業は、SeACD2 で行います。詳しい操作手順は【[SeACD2 操作マニュアル](#)】を参照してください。

Q26. 室/部材データがインポートできません

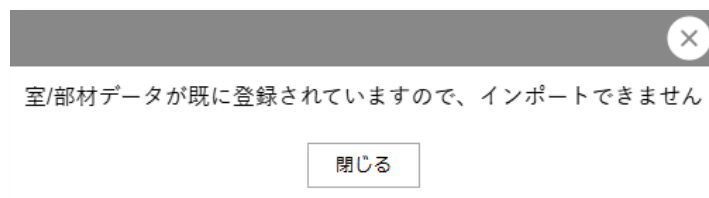
A26. 「室/部材データ・インポート」は、作図および登録済みの室/部材データがある場合にはご利用いただけません。構造体記号の重複などを避けるための制限ですので、何卒ご容赦ください。

【インポートが利用不可となる条件】

■ 室/部材の以下情報が、いずれか一つでも登録されている

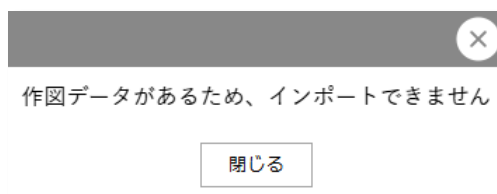
- 室情報
- 構造体
- 建具
- 負荷系統
- 諸元設定

⇒ 「室/部材データが既に登録されていますので、インポートできません」エラーになる



■ 室/部材の登録情報はないが、作図がされている

⇒ 「作図データがあるため、インポートできません」エラーになる



【現在編集中のプランで室/部材をインポートする】

作図や上記情報を一度削除しても差し支えない場合、削除後に「室/部材データ・インポート」再試行でインポートしていただくことが可能です。

【新規のプランで室/部材をインポートする】

作図や上記情報の登録を始める前に、「室/部材データ・インポート」を実行してください。

Q27. 「屋外空間」の用途や、各アプリへ連携された際に通常の室とどのような違いがあるのか教えてください

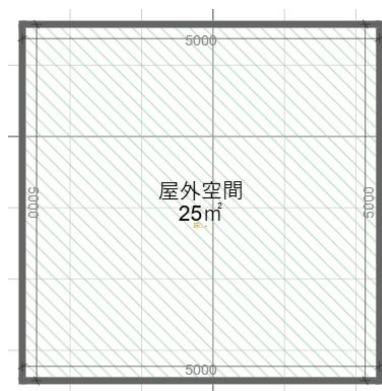
A27. 「屋外空間」はバルコニーや中庭などの屋外であるエリアの場合にチェックします。

換気機器を設置するためのエリアとして SeACD2 へ連携したい場合や、省エネ計算の照明設備計算対象エリアとして A-repo 建築へ連携したい場合に使用することを想定しています。

CADECT で「屋外空間」を設定したエリアは、入力メニューの「天井なし」(…①)、「空調計算(省エネモデル用)」の「対象外」(…②)に自動的にチェックが入り、チェックボックスは編集不可となります。また、作図画面では他エリアの表示とは異なり、エリアに緑色の斜線がかかり、背景は透明になります。(※「省エネモデル」選択時は、建物用途・室用途に応じた色で斜線が表示されます。)

【エリアの入力メニュー】

【作図画面】



「屋外空間」は屋外として扱われるため、隣接するエリアの壁は外壁が正しいと認識されます。そのため、内壁を設定している場合はエラーチェックに検出されます。

階	GUID	エラー内容
1F	1	外壁に内壁の構造体記号が割り当てられている ※隣接する室の間に、極小の隙間が生じている場合がある
1F	2	外壁に内壁の構造体記号が割り当てられている ※隣接する室の間に、極小の隙間が生じている場合がある

なお、「屋外空間」を設定した場合、各アプリによって連携条件および挙動が異なります。詳細は以下のとおりです。

STABRO 負荷計算

連携条件：

- ・「屋外空間」は STABRO 負荷計算へ非連携です。
- ※CADECT で「空調・非空調（空調モデル用）」の「空調」を選択しても、STABRO 負荷計算へは連携されません。

SeACD2

連携条件：

- ・CADECT の「空調・非空調（空調モデル用）」で「非空調（換気あり）」を選択することで CADECT のエリアが SeACD2 の室として連携されます。
- ※「空調」または「非空調（換気なし）」を選択した場合は連携されません。

挙動：

- ・通常の室と異なる動きはありません。
- ・「換気機器選定」画面にて「換気設置場所」として選択することを想定しています。
- ・換気機器、空調機器を選定することは可能ですが、選定した機器情報は A-repo 建築に連携されません。

A-repo4 建築

連携条件：

- ・CADECT の「省エネモデル」で「建物用途」「室用途」を設定することで CADECT のエリアが A-repo4 建築の室として連携されます。

挙動：

- ・[室・空調ゾーン登録]における計算対象は、選択された建物用途・室用途に限らず「照明」のみにチェックが入った状態で連携されます。
- ※A-repo 建築で計算対象のチェック項目を編集することは可能ですが、A-repo 建築を保存してもチェック情報は保持されず、ひらき直すと「照明」の計算対象のみにチェックが入っている状態に戻りますのでご注意ください。
- ・[外皮面積(非空調室)]に室が連携されますが、外皮情報は連携されません。
- ・屋外空間の上階の床は「外床」として連携されます。

Tips!

「屋外空間」の作図方法は、【CADECT 操作マニュアル】を参照してください。

Tips!

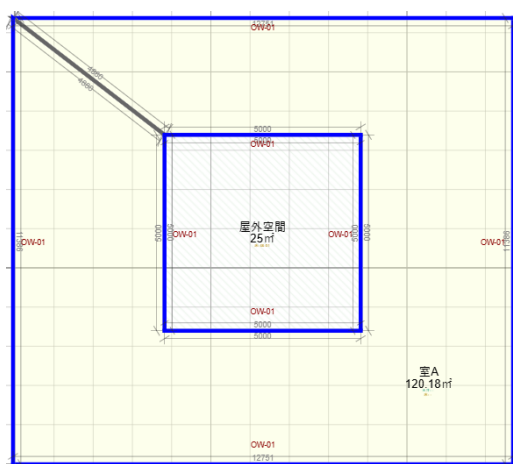
＜「屋外空間」の設定を推奨するケース＞

下図のようにドーナツ状に囲まれた中心部分のエリアが屋外になる場合、屋外を表現するには以下 2 通りの方法があります。

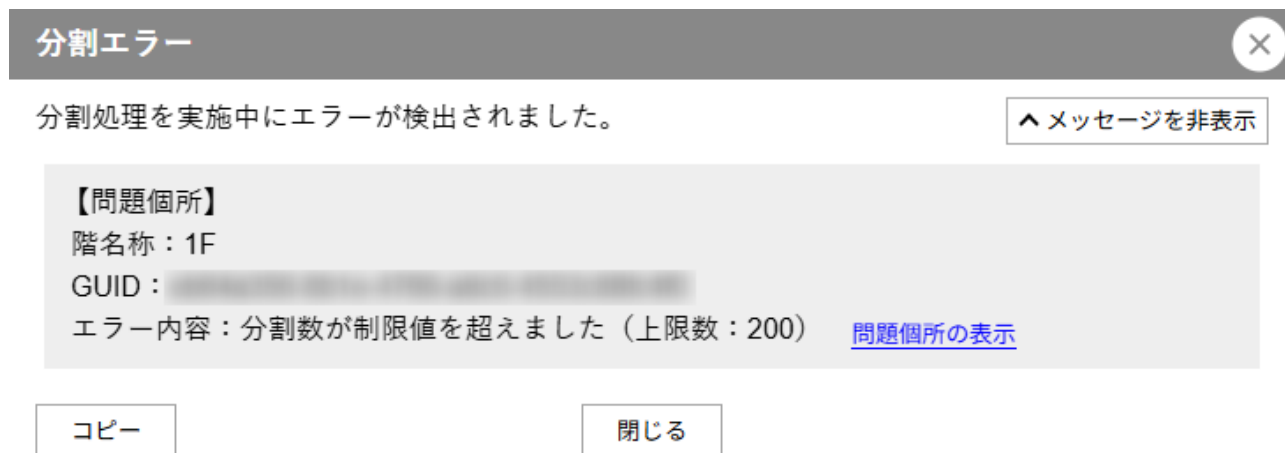
1. 中心部分にできたエリアを削除する
2. 中心部分のエリアを「屋外空間」に設定する

1 の場合、作図を進める中で自動的に分割処理が走り、削除したはずの中心部分に意図せずエリアが再生成されてしまうことがあります。

2 の場合、上記を回避できるため、このような形状では各アプリへ連携する必要がない場合でも「屋外空間」を設定することを推奨しています。



Q28.「分割数が制限値を超えました（上限数：200）」のエラーを解消する方法を教えてください。



A28. 分割エラー『分割数が制限値を超えました』は、分割処理が B-LOOP で設定されている制限値を超えた際に発生するエラーです。この場合、B-LOOP で想定されていない建物形状となっている可能性があり、「チェック」で表示されるエラーを修正することや「補正」でチェックされた箇所を修正することで解消されることがございます。



例えば、「チェック」で「部屋領域が重なっている」と表示される場合、当該箇所の作図を一度削除して描き直すことで修正いただけるケースもあります。

Tips!

<Revit 取込みの場合>

「補正」メニューの「エリアのポイント結合」が有効です。この操作により、細かい壁がある場合に自動で削除されます。また「間取りをチェックして補正」にて、該当の形状（補正が必要な形状）がないかも合わせてご確認ください。

<CADECT いちから作図の場合>

上下階のずれ（不揃い点検出）やエリアの重なりが原因のケースもあります。個々の物件について、チェックや「補正」機能で分割しづらい形状を探し修正していく必要があります。

Q29.上の階を作図しているのにも関わらず、下の階で「分割数が制限値を超えました（上限数：200）」とエラーが表示されるのはなぜですか。

分割エラー



分割処理を実施中にエラーが検出されました。

▲メッセージを非表示

【問題箇所】

階名称：1F

GUID：

エラー内容：分割数が制限値を超えました（上限数：200） [問題箇所の表示](#)

コピー

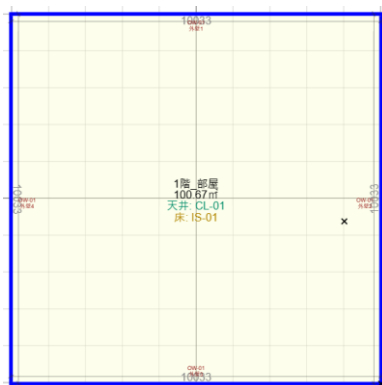
閉じる

A29. B-LOOP データとして保存した際、CADECT では、ある階の天井は、その上にある階の間取り（部屋の形状や壁の配置）によって分割されます。つまり、上階の作図内容が複雑になった場合、下階の天井もそれに合わせて細かく分割されるため、分割数が制限を超えてしまうことがあります。

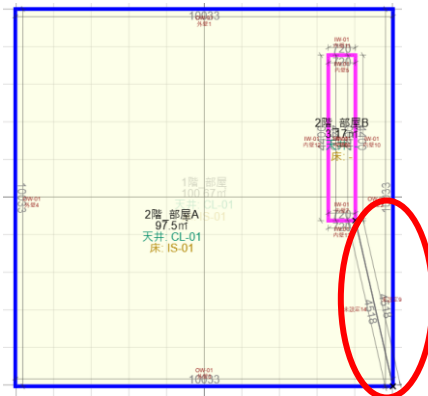
このため、保存実行後に分割エラー「分割数が制限値を超えました（上限数：200）」が下の階で表示されていても、原因は上の階の間取りや壁配置にある可能性があります。エラーが発生した際は、上の階の壁や部屋の形状についてご確認ください。

例)

1 階



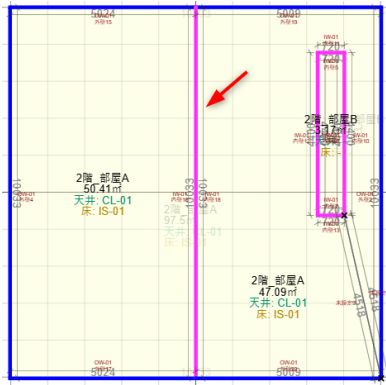
2 階



入れ子部分のエリアへの区切り線が鋭角のため、分割数が多くなり制限値を超える可能性があります。

【修正方法】

1、2 階_部屋 A のエリアを一度分割



2、1 で分割されたエリアを選択肢、右クリック「エリア合体」で結合

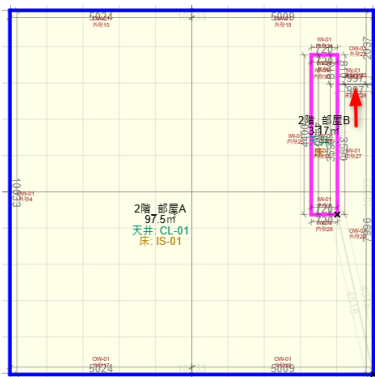
合体先エリアの選択

どのエリアに合体をすることも選択してください。選択したエリアの属性が引き継がれます。

連携ソフト	番号	部屋名	室用途	階	天井高 (mm)	床高 (mm)	天井なし	構造体記号 (天井)	床なし	構造体記号 (床)	空調 非空調	空調 食荷区分
CADECT		2階_部屋A		3F	2400	0	<input type="checkbox"/>	CL-01	<input type="checkbox"/>	IS-01	空調	冷房のみ
CADECT		2階_部屋A		3F	2400	0	<input type="checkbox"/>	CL-01	<input type="checkbox"/>	IS-01	空調	冷房のみ

OK

3、切り込み線を再作成



Tips!

<分割数>

分割上限値は 200 です (2025.10 月現在)

Q30. CADECT の分割処理とはなんですか。

A30. CADECT における「分割処理」とは、図面上の情報を分けする計算処理です。主に、壁線などの作図によってエリアを区切る処理や、保存時に他アプリケーションとの連携を目的として構造体の重なりを分割する処理になります。

1、CADECT で壁線による分割計算

壁線によってエリアがどのように分割されるかを計算します。例：エリア機能で壁線を新たに引いた時など
これは、壁線の引き方によりその階のエリアがどのように分かれるかを判断する処理です。この計算は作図を行った階のみに影響し、上下階には影響しません。

2、保存時の分割連携計算

保存時に「連携」へチェックを入れて保存すると、「分割連携計算」が実行されます。
分割連携計算とは、その室の天井・床・壁などの構造体とその上下階の天井・屋根・床の構造体の重なりなどを他アプリで使用するために分割する計算です。2 階層離れた室の状態については基本的に影響がありません。

※参照：B-LOOP データ変換：構造体種別の置き換えルール

[『CADECT⇔STABRO データ変換対応表』p.8](#)

つまり、作図操作を行う度に前者の計算が走ります。…1

B-LOOP データとして連携する際には、作図階の上下階の部屋・屋根・床の状態が構造体連携に影響します。…2

Tips!

以下のような例外的な設定・操作の場合は、階をまたいで影響が出る場合があります。

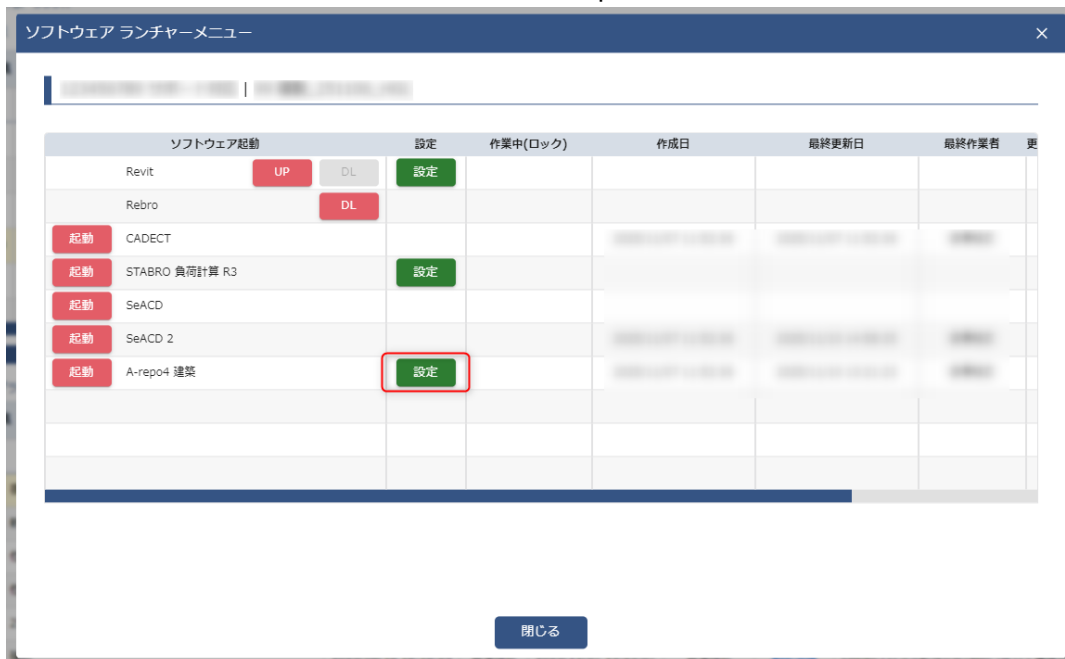
屋根自動生成、補正メニューからの補正等：全階層に作図の変更を行う可能性があります。

吹抜け設定：上下階以外の階層の分割連携計算に影響します。

Q31. SeACD で登録した機器を A-repo 建築へ連携するにはどうすればいいですか

A31. 以下操作方法をお試しください。

1. ソフトウェアランチャーメニューを起動いただき、A-repo 建築の「設定」をクリック



2. 「設備機器を B-LOOP データで上書きする」へチェックを入れ「OK」をクリック

※画像に記載がある通り、チェックを入れることで空調設備・換気設備が SeACD のデータで上書きされます。そのため、A-repo で直接入力した空調設備・換気設備情報は削除されますのでご注意ください。

